



伊東・吉田より望む富士山／三井恵美子・画



会長 村上恵宏 副会長 稲葉雅之
幹事 三井勇人

例会場 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ボウル2F
例会日 毎週(金曜日) TEL 0557-37-1512
事務所 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ボウル内
TEL・FAX 0557-37-0036
ホームページ <http://itowest.rcy.jp>

出席報告

	会員数	出席規定 該当者	出席者	欠席者	M. U	出席率
本日	49	47	43	4		91.4%

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度 R.I. 会長 ホルガー・クナーク
第2620地区ガバナー 志田 洪 顯

2021.4.9 第2015回例会 No.2015

会長挨拶

皆様こんにちは。先日、4月4日(日)米山記念奨学金、カウンセラー、奨学生オリエンテーションがありました。本日から奨学生の孫君が出席しますので宜しくお願い致します。さて、「朝30分の掃除から儲かる会社が変わる」(株)武蔵野・代表取締役・小山昇著。これも大分前のことですが、この本を読みたいと思った理由／この題名の「朝30分の掃除から」って？儲かるというところではなく儲かるイコール良いこと。どんな良いことがあるのかな？って興味を持った。1. 掃除を「環境整備」って言い！「環境整備」が「経営戦略」に、そして気づきが……。2. 「感性」は持って生まれたものではなく、後天的な訓練によって育てるもの。「感性」は心掛け次第でいくらかでも豊かになり、多くのことに気づけるようになる。その気づきがさらに「感性」を磨く。3. 「環境整備」の本質は掃除ではなく、仕事をやりやすくするための「環境」を「整えて」仕事に「備える」ということ。4. 「環境整備」で最も大事な精神は、仕事をやりやすくすること。整理を「戦略」と考え、捨てる(ムリ、ムラ、ムダ)をなくす。整頓を「戦術」と考え、やりやすい環境にする。という



ようなことに共感し、会社 CAS で実践することになりました。○小さいところ、簡単なところを徹底してやる。担当範囲を決め、水回り、床、書棚、机、外駐車場等を全員で一斉にやる。○朝礼の後30分」でなくてもいいと考え、掃除「環境整備」(10でも15分でも) いいと思って「環境整備」を始め、当社なりにアレンジし約10年以上が経ちました。儲かっているかどうか？ですが、良いことの成果は……出ているような気がします。ロータリークラブにおける環境整備について考えて見ますと……今「変化に対応しようとしている時」円滑なコミュニケーションの環境に整えられたら良いと思います。

本日の欠席者

原幸男君 藤井時美君 増田真啓君 沼田竹広君

幹事報告

○事務局より会員の皆様へ配信されている「通常例会について」をご確認いただき、①会場への出席、②リモートでの出席、2つの方法が選択できますので、必ず返信をお願いします。食材の仕入れ等がありますので、回答日時までお願いします。

会員慶事

○皆出席おめでとう

4月表彰

斎藤隆一君 26年
北村 勲君 25年
飯島崇宏君 13年



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

3月表彰 青田義仁君 1年

○結婚記念日おめでとう

渡邊眞光君 4月

市川正樹君 4月

石川和正君 4月

稲葉 衛君 4月

松屋永久君 4月



○配偶者誕生日おめでとう

勝又隆男君 恵子様 4月

スマイルボックス

石井 幸弘君 今週のゴルフ、火曜日サザンクロスで妻と2人、103同じで引きわけでした。

北村 勲君・斎藤隆一君・飯島崇宏君
皆出席おめでとうございます。

村上 恵宏君 本日から米山記念奨学生の孫君が出席します。カウンセラーのシャムさんだけでなく皆さんで早く馴染まれるように、ご協力お願いします。

稲葉雅之君・北岡貴人君・土屋順史君・飯島崇宏君・小川嘉洋君・石井幸弘君・杉本興一君・永井隆幸君・安西光枝君・青田義仁君・久保田英二君・市川正樹君・齊藤 洋君・田邊喜義君

米山奨学生のソン・コウハ君を歓迎します。1年間、ロータリーを学び、楽しく交流しましょう。

特記事項

○米山奨学生・孫 浩波（ソン・コウハ）さんが今回より出席され、4/17 誕生日で、ハッピーバースディソングを皆で合唱しました。



卓 話

担当 佐藤 周君

教育委員を務める村上会長の参加する、伊東市総合教育会議で決定した「令和元年伊東市立小中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」に基づき、市内小中学校の統廃合が進められています。



地域協議会及び各部会において準備が進められ、

この3月に惜しまれながら川奈小学校が閉校しました。2年後の令和5年4月には、東小学校に西小、旭小が統合になります。さらに中長期的な将来の状況を考えると、市内中学校は北部と南部の2校程度に統合し、小学校は北部と中部と南部の3校程度に統合するなどの、大幅な適正化の必要に迫られる可能性も高いものと考えられています。統合の目的は、小・中学校ともに、クラス替え可能な学級数での学校運営を目指すことに加え、中学校では、部活動指導や教科担任制の円滑な運営のために、9学級以上を目指すことです。

一方、伊東市では、特別支援学級を、東、西、宇佐美、八幡野の4小学校、及び南中学校に設置しており、知的障害、情緒障害のある子供に対して、その子に応じた教育が行われています。さらに通級指導教室として、通常の学級に在籍しながら学習面・生活面等で特定の分野において困り感を抱える子供に対して、教育支援を行う。西小学校の「ことばの教室」と「杉の子指導教室」を配置しています。新たに令和3年度には、南中にも通級指導教室が配置されました。いずれも障害のある児童の為の、適切な指導及び支援を担っています。静岡県の方針によれば、「特別支援教育は、障害のある子供への教育にとどまらず、障害の有無やその他の違いを認識しつつ、様々な人々が生き生きと活躍できる、共生社会の形成の基礎となるものであり、社会にとって重要な意味を持っている。」とあり、インクルーシブ教育の重要性を訴えています。

さらには、今年度から本格的にGIGAスクール構想が動き出します。小中学校児童生徒に1人1台タブレット端末が配布され、「狩猟、農耕、工業、情報」に続く、5番目の社会（society 5.0）を生きる為の教育と位置付けられています。

そのような状況で、市内の子供たちを教育してくださる先生の雇用は、静岡県に委ねられており、配属人事権も県がもっています。優秀な先生を迎えたいと思いますが、県下において東部地区への配属希望は高くなく、伊豆地域となると希望者は限られます。普通級にとどまらず特別支援級も含めた教育人材の確保・育成は大きな課題です。少子化と教育環境変化の加速に遅れを取らないように、義務教育を支えなければなりません。

（担当 牧野隆広）

プログラム予定 理事会で決定され次第お知らせします。